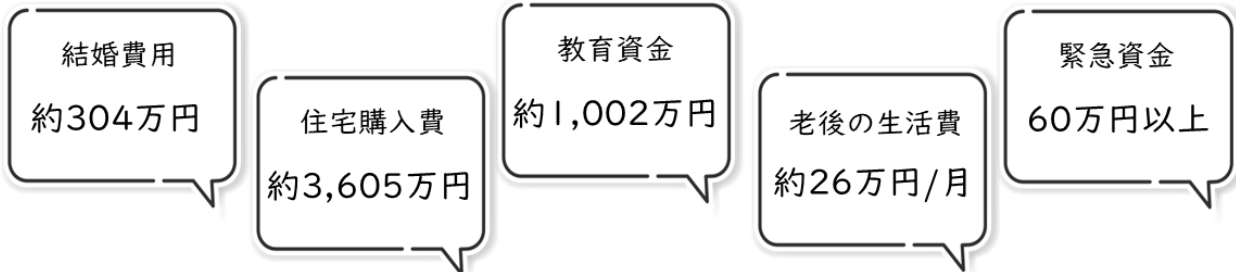


皆様のためのお役立ち情報を発信します。保険や投資を学んでいきましょう！



結納・婚約～新婚旅行
までにかかった費用総額
(全国推計値)

※ゼクシィ 結婚トレンド調査2022



建売住宅の
平均購入価格

※住宅金融支援機構
「2021年度フラット35利用者調査」



子ども1人あたりの総額
(幼稚園から高校まで公立
大学のみ私立の場合)

※文部科学省「子供の学習費調査
(平成30年度)」、「私立大学等の令
和元年度入学者に係る学生納付金等
調査結果について」



高齢夫婦無職世帯の
月あたりの支出

※総務省「家計調査年報(家計収支
編)2021年」65歳以上夫婦のみの
無職世帯



生活費の3ヶ月分～
1年分を確保

参考 日本FP協会「主なライフイベントにかかる費用の目安」

今回のお話 「なぜ投資が必要なのか」

「将来のために若いうちから資産運用しないといけない」と最近よく耳にしませんか？

しかしなぜ必要なのか、本当に自分に必要なのか、よく分からないという話も聞きます。

そもそも皆さんは、人生においてライフイベントにはどんなものがあり、どれくらい資金が必要かご存知ですか？

主なライフイベントとして上記のものが挙げられます。

もちろん、ライフイベントには個人差がありますが、その中でも“人生の3大資金”と呼ばれるものに「住宅資金」「教育資金」「老後資金」があります。

上の図からも、「住宅購入費」「子どもの教育費用」「夫婦での老後資金」にかかる資金が他のイベントより高いことがわかります。特に老後資金については退職後、平均寿命の85歳ごろまで約25年間生きる場合、約7,800万円の資金かかるといわれています。ちなみに、定年まで企業で働いた夫と専業主婦の妻の夫婦で月に約22万円の年金受給があったとしても月額4万円の不足、25年間で約1,200万円の不足となります。

記憶に新しい「老後2,000万円問題」。これは2019年に金融庁が発表した報告書が発端でした。この報告書により世帯の金融資産の状況が示され、「老後30年間で約2,000万円の不足」という問題が2,000万円という具体的な数字と共に大きな話題となりました。

さらに、住宅を購入する場合、住宅ローンの借入金は少ない方がいいですし、子どもの教育費についても公立・私立どちらを選ぶか、大学進学の有無がありますが、子どもの将来のための選択肢は多い方がいいですね。

そして老後には旅行に行ったり、趣味に熱中したり、お孫さんがいればお祝いをしたり一緒に遊びに行ったり、そのためにもお金が必要です。

ライフイベントにおける必要な資金や報告書による数値はあくまでも平均で、個人差は当然あります。

しかし、「人生100年時代」ともいわれる現代において多くの人が老後生活において「お金の面」を不安に感じているにもまた事実です。

将来への不安を少しでも払拭するためにも、なるべく早いうちから将来のことを見据えて準備をしておくに越したことはありませんよね。

で、NISA って何？ ～語源から知る新 NISA アレコレ～

NISA（ニーサ）は、日本の「少額投資非課税制度」の愛称です。でも、ニーサってどういう意味か考えたことありますか？

NISA はイギリスの ISA（アイサ）を基にした造語で、これに「N」をつけたのが NISA です。では、この N は何かというと、「Nippon（日本）」なんです。あるアンケートでは National では？という回答も多かったそうですよ。

仮に Nippon を Japan にした場合、JINA（ジーナ）・・・なんかしっくりきませんね。

そもそも、英国の「ISA（アイサ）」は「個人貯蓄口座」と訳されています。

「Individual（インディビジュアル）」が「個人型」、「Savings（セービングズ）」が「貯蓄」、「Account（アカウント）」が「口座」となります。

しかし、日本の NISA は個人の貯蓄というよりは投資を促す制度なので、ここは「投資」の英語は「Investment（インベストメント）」の方が適当なのでは？と思いこれを当てはめてみます。「Nippon Individual Investment Account」となり「NIIA（ニーア）」となります。

さらに、頭文字を Japan の J に変えてみると JIIA（ジーア）・・・またまたしっくりきませんね。造語なのだからしっくりくるも何もないのですが、それほど私たちの生活で「NISA（ニーサ）」と耳にする機会が増えているという証かもしれません。

改めておさらいしますと、NISA は「Nippon Individual Savings Account」の頭文字をとったもので、「少額投資非課税制度」が正式な名称です。2024 年 1 月からスタートしたいわゆる「新 NISA」の特徴は以下の通り。

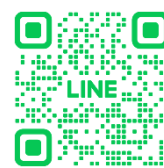
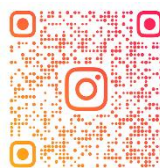
- ① 年間投資枠（成長投資枠・つみたて投資枠合計360万円）の拡大
- ② 生涯投資枠（1,800万円）の設定
- ③ 成長投資枠とつみたて投資枠の併用可能化
- ④ 制度実施期間の恒久化
- ⑤ 非課税保有期間の無期限化

**（株）First では、各種保険の他に、新 NISA の取り扱いも開始しました！
ぜひお気軽にご相談ください！**

東京支店開設しました！（準備中？）

熊本・福岡・大分・中津に次いで、新たに東京に支店が開設しました！

First では、お客様とのより良いコミュニケーションのため、SNS 発信や LINE アカウントの運営を行っております。ぜひお気軽に覗いてみてください。



総合保険代理店
株式会社 First